



食包協会報 第 188 号（2025 年 10 月号）ご案内

平素は「食包協会報」をご愛読いただきまして誠にありがとうございます。このたび 188 号（2025 年 10 月号）を公開致しました。今号では「災害・非常食」をメインテーマに、3 編の記事を掲載しております。

まず最初の記事では、神戸学院大学 栄養学部 伊藤智先生に「災害時の栄養問題～非常食から災害食へ～」と題しましてご執筆いただきました。こちらの記事では、災害時生じる栄養問題から、ローリングストックによる備蓄、災害時に役立つ調理法など個人で実践可能な対策を交え、災害食のありかたを解説頂いています。

2 つ目の記事では、一般社団法人 日本災害食学会理事の雨宮純子様「日本災害食学会の活動と災害食の容器包装への期待」と題しましてご執筆いただきました。こちらの記事では、日本災害食学会の紹介を始め、災害食普及に向けた取組を紹介されています。近年多発する自然災害に備えるために食品包装に求められるものは何か、ご一読をお勧めします。

3 つ目の記事では、株式会社ブルボン 調達企画部健康安全企画課の室橋尚子様に「ブルボンの災害に関する取り組みについて」と題しましてご執筆いただきました。関東大震災の窮状から創業され、以来一貫している「非常時にこそ社会の役立つ企業でありたい」という企業理念、それに基づく取組や災害に役立つ商品群のご紹介をいただいております。

最後になりましたが、ご多用のところ執筆を快くお引き受け下さいました伊藤様、雨宮様、室橋様に心から厚く御礼申し上げます。

2025 年 10 月 2 日
広報活動委員 三浦 博